

ふるさと 通信員だより

vol.241

このコーナーでは、ふるさと通信員が取材した身近な地域の話を紹介しします。なお、町では通信員を募集しています（活動はボランティアでお願いしています）。広報活動に興味のある人は、役場広報広聴課広報係（内線216）にご連絡ください。



南中土幌老人クラブ（中村祐一会長、会員69人）は、南中土幌地区構造改善センターで、今人気の「ボッチャ」を体験しました。ヨーロッパ生まれのボッチャは、パラリンピックの種目で、赤組、青組に分かれ、目標球の白いボール（ジャックボール）を目指し、転がしたり、投げたりして、近づけて競い合います。「よっしゃ」「今度こそ、どうだ」と熱戦で拍手や笑いが会場に響きます。

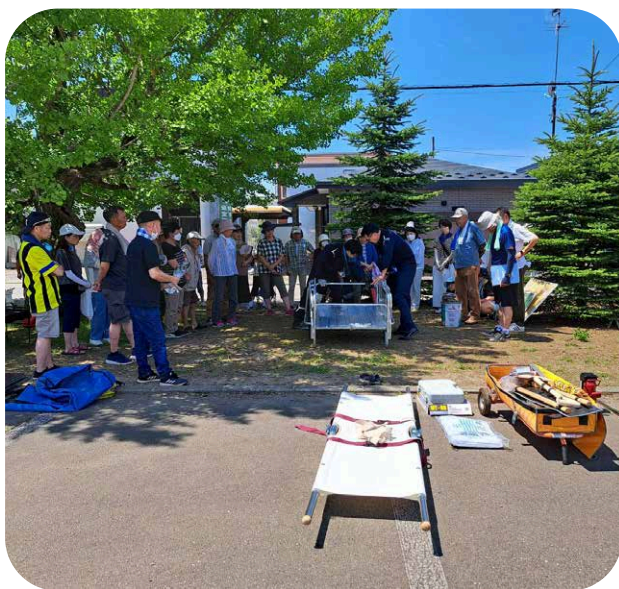
三輪キエさん（91）は「思うようにいかないのが楽しいね」と初体験に笑顔でした。

ボッチャの遊具は総合福祉センターで、無料で貸し出ししています。



たかだ てつこ
高田 徹子 通信員

初体験に感動



北宝来2区町内会（高野忠正会長、156世帯）は、町危機対策課の職員を講師に招き、防災講座を開催しました。

講座には80人が参加し、普段はあまり知る機会が少ない防災倉庫の備品を確認しました。備品には、災害用リアカー、荷台、担架、土工具などがあり、それぞれの使い方や使用する時の注意点を学びました。

また、簡易トイレも紹介され、万が一の時、避難所生活する場合の衛生管理についても話を聞きました。講座の後は、参加者で親睦会を行いました。



いしだ ひさよ
石田 尚世 通信員

防災講座